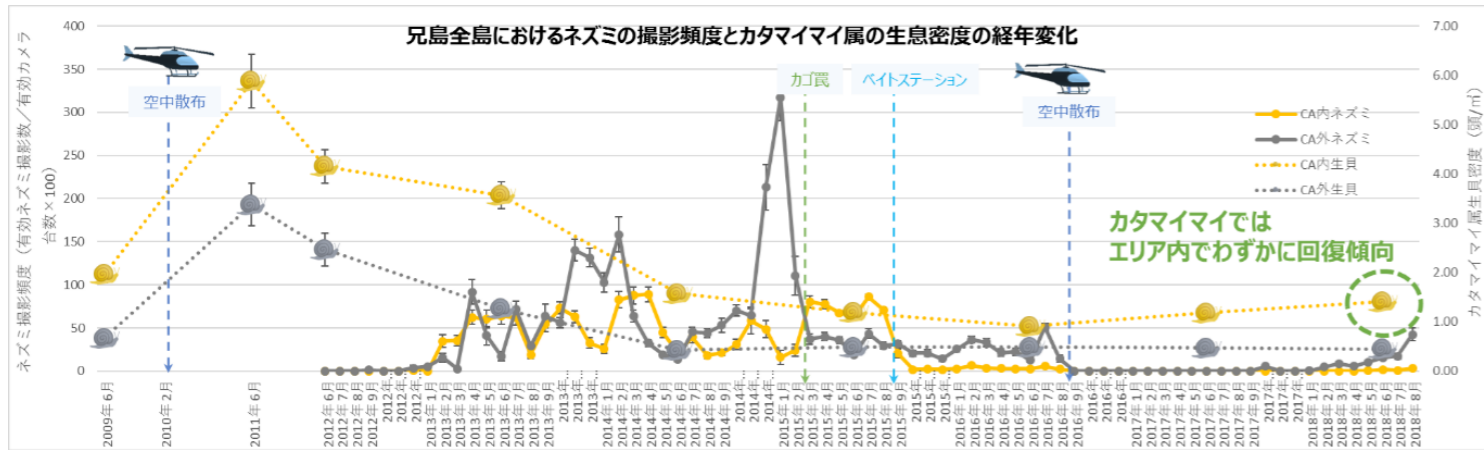




兄島でのマイマイ保全の取組について

兄島の固有陸産貝類の保全のため、平成28年8月に殺鼠剤の空中散布を行いました。その後、2年が経ち、兄島陸産貝類保全プロジェクト会議において、一連の取組の評価を行いました。今後も現在の取組とモニタリングを継続していきます。

- ◆ 固有陸産貝類の生息密度は、カタマイマイ属で微増、ヤマキサゴ属で増加が確認されています。
- ◆ 一方で、ネズミが再確認された昨年7月以降、ネズミの撮影頻度も上昇傾向にあり、撮影される地点も増加傾向です。
- ◆ 会議では、有識者からカタマイマイ属が急増していない点については、昨年の干ばつの影響が考えられるために、もう少し時間をかけてモニタリングをする必要があることなどの指摘をいただきました。
- ◆ また、ネズミの効果的な駆除に関しては、洋上流出を抑える対策がしっかりできた一方で、天候などにより結果的に散布量が少なくなったり、散布期間が短くなったことなどから、ネズミの早期発見につながってしまった可能性があること等も共有されました。



南島におけるネズミの再発見と媒島におけるネズミ駆除開始について

◎南島におけるネズミの再確認について

- ◆ 平成30年1月の全島駆除実施以降、ネズミの生息は確認されておりましたが、8月27日の調査でネズミが再確認されました。現在、専門家によるご意見を参考に、今後の対応について検討しております。



◎媒島ネズミ駆除作業について

- ◆ カツオドリのヒナが大きくなるのを待ち、9月上旬より、手撒きによる殺鼠剤の散布作業を開始しました。
- ◆ ネズミ駆除により、オオハマギキョウなどの希少植物が保護され、木本植物の再生が見込まれます。さらに、小型海鳥類の繁殖率改善も期待されています。



◆◆お問い合わせ先◆◆

本チラシに関するお問い合わせは、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

環境省小笠原自然保護官事務所（世界遺産センター）

Tel/Fax: 04998-2-7174/7175

E-Mail: RO-OGASAWARA@env.go.jp

東京都小笠原支庁

Tel/Fax: 04998-2-2167/2302

小笠原村環境課

Tel/Fax: 04998-2-3111/3222

林野庁小笠原諸島森林生態系保全センター

Tel/Fax: 04998-2-3403/2650

世界遺産に関する情報は、下記のホームページをご覧ください。

小笠原自然情報センターHP: <http://ogasawara-info.jp/>

世界自然遺産の保全に係る各種対策・取り組み①

地域連絡会議事務局では、世界自然遺産の保全に関わる各種対策・取り組みを行っています。ここでは、特に地域のみなさまに関わりの深い事業について、対策・取り組みの状況をご紹介します。

平成30年度第1回地域連絡会議の開催について（報告）

9月18日（火）に小笠原諸島世界自然遺産地域 地域連絡会議を開催しました。

- ◆ 地域連絡会議は、遺産地域の適正なあり方を検討し、検討結果の実現に最大限の努力を行うため、関係機関の連絡・調整を図ることを目的としています。
- ◆ 会議では、管理機関（小笠原村、東京都、林野庁、環境省）の遺産管理にかかる取組、管理計画概要版の作成、西之島の価値と保全等に関する検討状況、IUCNによるOutlook、鳥獣保護区の更新作業について、連絡・調整を行いました。
- ◆ また、NPO法人小笠原自然文化研究所より、父島南崎での海鳥繁殖地の復活について報告がありました。今年7月の調査により、カツオドリやオナガミズナギドリ、アナドリの営巣が確認されたということでした。



ペットに関する条例の検討状況について

◎ペットに関する条例の検討について

- ◆ 2月の自然情報センターだよりでもお知らせしましたが、小笠原村では、ペットに関する新しい条例を検討しています。
- ◆ 平成27年10月に設置した「愛玩動物による新たな外来種の侵入・拡散防止に関する地域課題ワーキンググループ」において、延べ10回の会議を開催し、現在も検討を重ねています。そして、今年度中の制定を目指しているところです。
- ◆ 条例案の骨子としては、①飼養・持ち込みできるペットの種類の制限、②観光客も対象とした島外からの持ち込みの申告、③イヌ・ネコ以外のペットも対象とした適正飼養の義務、④家畜なども含めた動物の遺棄・逸走の禁止などの規定を盛り込む予定です。

◎ペットに関するアンケートへの協力をお願いします

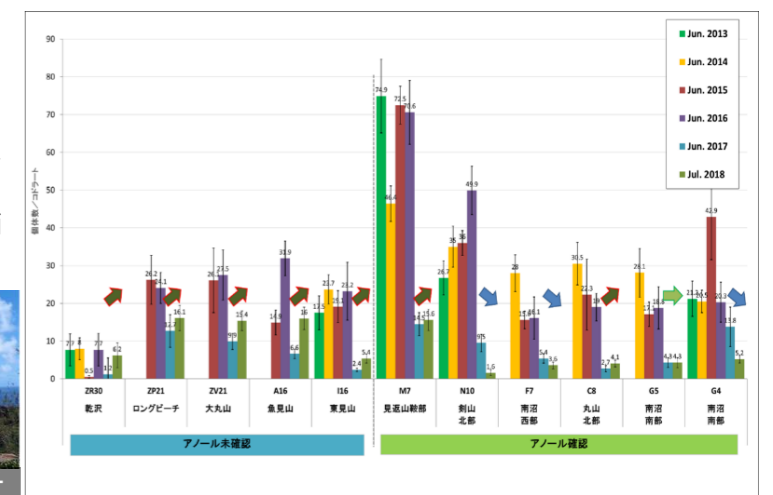
- ◆ ペットに関する条例の検討にあたって、村民の皆さまがどのような動物をどのように飼っているかを把握するため、9月中旬に「小笠原のペットに関するアンケート」を配布いたしました。
- ◆ 回答期限を過ぎても、引き続き受け付けておりますので、多くの方のご意見をお待ちしています。
- ◆ ご回答いただいた内容は、今後の検討に反映させたいと考えています。ご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

兄島におけるグリーンアノール対策について

兄島に侵入したグリーンアノールは、生息範囲が拡大し、一部地域では生息密度が上昇しています。今年度、昆虫類の減少が初めて確認されています。アノールトラップや侵入防止柵での取組と低コストで効果的な探索技術を開発しています。

- ◆ 一部の地域での飛べない固有昆虫ヒメカタゾウムシの減少
- ◆ アノールのいない地域では、前年と比べ僅かに増加し、アノール確認地域では一部で減少。
- ◆ 渇水の影響が継続している中で、アノールの捕食等が影響していることも否定できない状況。

- ◆ ドローンとAI(人工知能)による探索技術
- ◆ 最新技術を応用し、低コストで効果的な探索技術の開発をしています。



地域みなさんと取り組む世界自然遺産の保全管理

父島、母島では、事務局が実施する対策・取り組みのほか、村民のみなさんや一般のみなさんにも遺産価値の保全に参加いただいたり、最新の取り組みを学んでいただいたりする、各種プロジェクト・イベント、会議等を実施、開催しています。ここでは、各種プロジェクト・イベントのほか、地域連絡会議参画団体であるNPO法人小笠原野生生物研究会の取り組みをご紹介します。

平成30年度イベントスケジュール（10月時点）

4月	・千尋岩指定ルート外来種駆除ボランティア（21日） ・環境省みどりフェスタ出展（29日）
5月	・オガグワの森プロジェクト（6日）（小笠原村） ・ハハジマ森の道プロジェクト（12日）（小笠原村） ・兄島視察会（19日）（小笠原村）
6月	
7月	・第1回環境省こどもパークレンジャーin母島（15日） ・世界遺産センター夏休み特別企画（～9月2日）
8月	・ハハジマ森の道プロジェクト（25日）（小笠原村）
9月	・世界自然遺産学術報告会（4、11日）（環境省） ・小笠原中学校東平外来種駆除活動（6、7日） ・オガグワの森プロジェクト（8日）（小笠原村） ・世界遺産センターマイマイイベント（8日） ・第2回環境省こどもパークレンジャーin母島（9日）
10月	・世界遺産センターハンミョウイベント（6日） ・西之島 Days～西之島の将来を考える～（環境省） ・ミニ企画展 in 世界遺産センター（13～16日） ・西之島クルーズ（14日）（小笠原海運） ・西之島の価値と保全にかかる講演会（13日） ・遺産センターハロウィン（31日夕方～）（環境省）
11月	・南島外来植物駆除ボランティア（東京都）（10日、予備日11日） ・母島の森 植栽イベント（11日）（小笠原村） ・西島外来植物駆除ボランティア（18日）（小笠原村） ・小笠原諸島固有森林生態系回復ボランティア2018in母島（29、30日）（林野庁）
12月	・オガグワの森 植栽イベント（9日）（小笠原村） ・第3回環境省こどもパークレンジャーin母島（2日）
1月	・森づくり維持管理イベント（父島・母島）（小笠原村）
2月	・世界遺産センターおがニャンDAY（環境省） ・兄島視察会（小笠原村）
3月	

小笠原諸島返還 50 周年記念報告会

～みんなの近くの世界遺産～

- ◆ 世界自然遺産の管理機関では、現在、島内で行われている様々な取組、研究の成果を広く島民や島を訪れる観光客に伝えるため、報告会を開催しました。

【母島】9/4（火）@村民会館
【父島】9/11（火）@世界遺産センター

- 管理機関の取組紹介
- 地元団体からの取組報告
高校生やNPO、地元企業など
- 研究者からの研究成果の発表
マイマイや外来種対策、世界遺産についてのお話

いきものミーティング

島民や観光客に島の中で「大切にしたい場所」「守りたいところ」などを付箋に書いて、地図に貼り付けてもらいマップ化しました。



両会場とも多くの方に
ご参加いただき大盛況でした。

マイマイイベントを9/8（土）に開催しました

- ◆ 世間にはまだなじみの薄い小笠原固有カタツムリの魅力を多くの人に知ってもらうため、『MAMAI WORLD～Small な世界で Big な発見をしよう！』を開催し、80名を超える方に参加いただきました！
- ◆ バックヤードツアーでの飼育体験や遊びコーナーでの兄島調査体験、さらにはマイマイの殻をモチーフにしたクラフト作りまで、大人も子どもも楽しめる内容で大盛況となりました。



小笠原国立公園こどもパークレンジャーin母島

- ◆ 環境省では、子どもたちに島の自然の大切さや自然再生事業について知ってもらうため、母島の新夕日ヶ丘自然再生区にてレンジャー体験イベントを実施しています。
- ◆ 実施報告
 - ・第1回「島の虫を描クンジャー！」 7/15（日）開催
 - ・第2回「島の森を作ルンジャー！」 9/9（日）開催



昆虫調査や植樹体験を通して
虫と植物の関係を学びました！

【次回予告】12/2（日）一般募集
第3回「新夕日ヶ丘をデコルンジャー！」
参加者を募集します。詳細は11月発行の
村民だよりをご覧ください。

小笠原中学校「東平外来種駆除活動」

- ◆ 小笠原中学校では、毎年1年生の総合的な学習の取組の一つとして、小笠原の自然と環境についての学習を行っています。
- ◆ 小笠原諸島森林生態系保全センターは例年この学習の指導協力をしており、今年度も9月6日に事前学習、9月7日に東平アカガシラカラスバトサンクチュアリーで取組の学習及び外来種駆除を体験してもらいました。



村民参加の森づくり

- ◆ 父島と母島の村有地では、自然をより身近に感じ、親しんでもらうため、「オガグワの森プロジェクト」と「ハハジマ森の道プロジェクト」を進めています。



『夏の地ならし体験』の報告

- ◆ 「夏の地ならし体験」として、母島では植物マップづくり、父島では道づくり体験を行いました。

<h3>オガグワの森 （平成30年9月8日）</h3> <p>【内容】 参加者：48名 ・初級、中級、上級の3班に分かれて木枠設置、石詰め ・バケツリレーによる石運び</p>	<h3>ハハジマ森の道 改め「母島の森」 （平成30年8月25日）</h3> <p>【内容】 参加者：9名 ・予定地を5mごとに区切り、その区画内の植物を参加者でマップ化 ・森の名前検討 → 「母島の森」に！</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

階段のスロープに石詰め

「母島の森」植物マップ

運ぶ石を箱に詰めたり、石を運んだり子どもたちが大活躍！

『植栽イベント』のお知らせ

- ◆ 母島の「母島の森」では、**11月11日（日）**にオガサワラグワをはじめとした在来の樹木を植栽するイベントを開催します。
- ◆ 父島の「オガグワの森」では、**12月9日（日）**にオガサワラグワを植栽するイベントを開催します。

【地域の取組紹介】 Vol.1 NPO法人 小笠原野生生物研究会 父島におけるグリーンアノール駆除事業

- ◆ 野生研では 経団連自然保護基金の助成を受けて、グリーンアノールにより壊滅的被害を受けた父島の昆虫相の復活を目指し、グリーンアノールの生息密度低減に向けた駆除事業を行っています。
- ◆ 1960年代に始まったグリーンアノールの侵入は、1980年代に爆発的に増え、絶滅した固有昆虫も多く、訪花昆虫の減少は植物をはじめ生態系全般に悪影響を及ぼします。
- ◆ 捕獲は、登録された村民が実施し、捕獲手数料として1匹100円が支払われます。
- ◆ 捕獲実績

2017年度 11,418匹
2018年度 11,643匹
（9月10日現在）

